

## 研修会報告

# 猛暑の夏！研修の夏！

例年にも増して暑かった今年の夏季休業中、置賜教育事務所では各種研修会を開催しました。ご参加いただいた先生方には、主体的・対話的に研修いただき、暑さに負けない熱気を帯びた研修となりました。その中から、「初任者研修『少年自然の家等における宿泊研修』」と「置賜地区情報モラル研修会」について紹介します。

## 初任者研修「少年自然の家等における宿泊研修」

8/8（水）～10（金） 飯豊少年自然の家 他

飯豊少年自然の家のご協力のもと、小・中学校の初任者に管内の県立高等学校と米沢養護学校の初任者、更に今年度から新規採用養護教諭及び新規採用栄養教諭を加え、2泊3日の宿泊研修を行いました。

はじめに飯豊少年自然の家、平田史彦所長より自然体験活動の意義についてご講義いただき、自然体験の有無が学力や人間関係形成能力等と相関関係があることを教えていただきました。また指導者には、子供の体験を「気づき」を通して“経験に昇華”させ、他に活かすことができるようにする役割があることを学びました。

今年度は初めて合唱活動を取り入れました。大人になってから合唱に取り組む機会はあまりなかった参加者ですが、音楽科の初任者を中心に短時間で素晴らしい『花は咲く』を完成させました。想像以上の達成感や合唱のよさを味わうとともに、児童生徒に指導するうえでのヒントを得ることができました。また、約60人が一つになって合唱をつくり上げたことで、先生方の一体感が深まりました。

その他、班ごとに「カレーづくり」「班別自主研修“置賜GO!”」「ネイチャーウォークラリー」等に取り組みました。意欲的な「参加者」として各活動を楽しむとともに、「指導者」の立場で安全の視点から振り返ることで、危機管理について具体的な事例をもとに学びを深めることができました。

本研修には、様々な校種、職種の先生が一同に会しました。交流することで、子供の育ちをつないで考えたり、多面的に児童生徒を理解したりするうえで、大きな気づきがありました。また、ここでできた絆は長く続く教員生活の支えとなるはずです。



### ～参加された先生方の声～

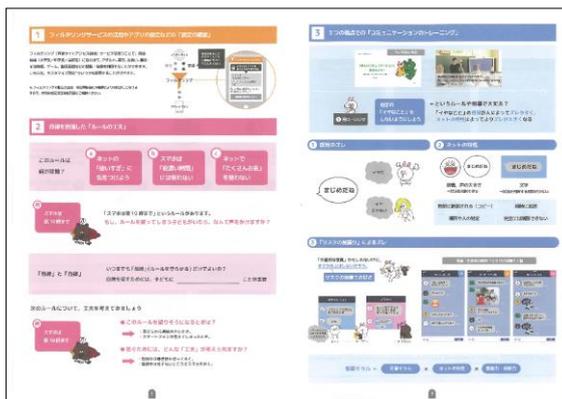
- ・子供が体験活動をすることにどんな効果があるのかを学ぶことができました。クラスの子供にも伝えていきたいと思いました。所長さんの「命より大事な活動はない」との言葉が心に残りました。
- ・合唱で先生方の本気は凄いなと思いました。素敵なハーモニーをつくることができ鳥肌が立ちました。
- ・置賜で生まれ育ちましたが、班別自主研修で歩いてみると新しい発見がたくさんありました。子供たちが郷土愛を持つためには、指導者が置賜を知り、好きにならなければならないと思いました。
- ・山道を歩き危ない場所もありましたが、引率者としての目線で活動できました。子供たちにはできるだけリスクを小さくして実践させたいと思いました。
- ・3日間を共にした先生方との縁を大切に、これからもお互いに切磋琢磨していきたいです。

# 置賜地区情報モラル研修会

8/3（金） 南陽市沖郷公民館

LINE 株式会社 高橋誠 氏をお招きして標記研修会を開催しました。主な講義・演習の内容を紹介します。

- ①「フィルタリングサービスの活用」では、親子でルールについて話し合うこと等が大切であり、法の遵守にも良い影響を及ぼすことを、アンケート結果等を交えてお話しいたしました。
- ②「自律を目指したルールの工夫」では、教師・子供それぞれの感覚には違いがあり、自律を促すルール作りを工夫することが大切であることを、具体的にルールについて考えることを通して学びました。
- ③「コミュニケーションのトレーニング」では、相手との違いやネットの特性等について、感覚的な違いを実感したり、具体的な場面を考えたりするワークショップを通してお話しいたしました。
- ④他県での、学校における SNS を活用した教育相談の事例を紹介していただきました。様々な課題もあげられていましたが、多様な悩みや考えを持つ子供への対応について考える機会となりました。
- ⑤自治体・大学・LINE 株式会社が連携して制作した、SNS 利用に関する学習の活用の手引きを紹介していただきました。小・中・高と発達段階に応じたモデル指導案が掲載されたもので、大変参考になりました。



## ～参加された先生方の声～

- ・自律に向けたルール作りでは、自分の価値観を押し付けるのではなく、本音を語らせ、本音で話し合うことが、ネット時代だからこそ大事なことだと思いました。
- ・ネット利用について、「制限」という考え方だけでなく、利活用について子供にしっかりと考えさせていく、そして一緒に考えていくことが大切であることに気づくことができました。
- ・今回の研修会は、情報モラルだけでなく子供達の私生活、学校生活における様々な場面で大事にしていかなければならない「意識」に関しても考える機会となりました。

## 置賜教育事務所管内 学力向上研究協議会

学力向上につながる探究型学習についてみなさんで考えてみませんか？

今年度は、第1回と第2回の講義が違います。学校の実情に応じてお選びいただき、各学校における授業改善・授業実践につなげていきましょう！

【期 日】 〈A〉平成30年10月16日（火） 〈B〉平成30年11月6日（火）  
※両日とも時間は13：45～16：40（受付13：15～）になります。

【会 場】 置賜総合支庁西置賜地域振興局 5階 講堂

【内 容】

（1）説 明 『全国学力・学習状況調査の分析結果について』

①本県の児童生徒の学力に関する成果と課題について

②置賜の児童生徒の学力に関する成果と課題について

（2）講 義 『学力向上につながる探究型学習の推進』（仮）

〈期日A〉講師：山形大学地域教育文化学部 教授 野口 徹 氏

※教科横断的なアプローチからの探究型学習について

〈期日B〉講師：山形大学大学院教育実践研究科 教授 三浦 登志一 氏

※国語科を中心とした教科からの探究型学習へのアプローチについて